

## 成果の説明書

(氏名)石井清輝	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>①これまでの「在台日本人」、及び台湾人に対するライフヒストリー調査のデータを整理し、あわせて収集してきた関連資料の整理を進めた。</p> <p>②①の作業を踏まえて、申請者が参加する科学研究費助成事業「文化的装置としての〈日本〉一戦後台湾における集合的記憶の社会的構成に関する研究」(代表:林初梅/大阪大学)の研究会において、「植民地同窓会における戦後日本の台湾記憶—台北・樺山小学校の事例から」と題した研究報告を行った(2020年11月21日)。</p> <p>③群馬県桐生市の重要伝統的建造物群保存地区を中心に、所属ゼミ学生とこれまで進めてきた調査活動を整理し、報告書の執筆を進めた。また、関連する情報をゼミのホームページ上で公開した。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>申請者が参加する科学研究費助成事業「文化的装置としての〈日本〉一戦後台湾における集合的記憶の社会的構成に関する研究」(代表:林初梅/大阪大学)の研究会においてコメンテーターを担当した(2020年12月12日)。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>①台湾に関する研究として、上記②の報告内容を論文として発表する予定である。また、「在台日本人」の1945年以後の台湾に関する記憶、及び、台湾人の45年以後の日本統治時代に関する記憶のあり様をテーマとした論文を執筆中である。</p> <p>②群馬県桐生市を対象として、所属ゼミ学生との共同調査・地域活動を継続し、報告書の指導、及び論文の執筆を進める予定である。</p>	